

草の根・人間の安全保障無償「エルサルバドル赤十字社献血車整備計画」署名式

2021年2月10日、有吉大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「エルサルバドル赤十字社献血車整備計画」への署名を、被供与団体代表者であるルイス・エルサルバドル赤十字社総裁と行いました。

本案件は、献血車を整備するため総額11万5900米ドルをエルサルバドル赤十字社に供与するものです。これにより、献血活動の拠点を拡大し、また、採血環境や血液の輸送環境を改善し、さらに、自発的な献血ドナーによる採血率の向上を目指します。同供与により、年間12,000人分の輸血用製剤の確保が見込まれ、血液製剤が安定的に供給されるようになり、当国が抱える輸血用献血製剤の不足解消が期待されます。また、今回供与される献血車は、エルサルバドルで初めて使用される献血車となります。

署名式には、在エルサルバドル日本国大使館非公式キャラクター「チャンバちゃん」とエルサルバドル赤十字社公式キャラクター「ゴティータ」も駆けつけました。



(写真中央上: 左からルイス被供与団体会長、有吉大使)